

(新)

第6章 暮らしを守る安心と安全のまちづくり

激甚化する自然災害への不安や多様化する社会不安を解消し、住む場所や暮らし方にかかわらず、誰もが安心して住み続けることのできる安全なまちづくりを目指します。

施策名 「防災」

施策目標の進捗状況																			
<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.26 → 目標値 (H33) 3.36</p> <p>R3 満足度指数 3.27</p> <p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <tr><th>年度</th><td>平成22年</td><td>平成24年</td><td>平成26年</td><td>平成28年</td><td>平成30年</td><td>令和元年</td><td>令和2年</td><td>令和3年</td></tr> <tr><th>満足度指数</th><td>3.46</td><td>3.13</td><td>3.25</td><td>3.26</td><td>3.25</td><td>3.24</td><td>3.33</td><td>3.27</td></tr> </table>	年度	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	満足度指数	3.46	3.13	3.25	3.26	3.25	3.24	3.33	3.27
年度	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年											
満足度指数	3.46	3.13	3.25	3.26	3.25	3.24	3.33	3.27											
<p>主な施策の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨量観測システムの追加設置により、防災情報システムの充実を図りました。 職員を対象とし、令和元年東日本台風の教訓を活かし、職員としての地域防災に関する基礎知識習得研修、避難者対応の判断力を養うため避難所運営図上訓練を実施しました。 職員と地域住民合同で、災害時等に市が開設する避難所を実際に設営するといった、職員・住民合同避難所開設・運営訓練を実施しました。 各自主防災組織の中心的役割を担う皆様(区長、区役員、民生児童委員)向けの防災基礎講座を実施しました。 「地域の防災・減災について」の出前講座を開催しました。 地域の自主防災組織のリーダー的な役割を担う防災士の重要性を各区へ周知し、1名の防災士の資格習得に対し自主防災組織に補助金を交付しました。 市へ登録した防災士23名をそれぞれ住所地の区長に紹介するとともに、ヘルメット及びベストを貸与し、活動し易い環境を整備しました。 防災対策として、河川関係の区要望について工事を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● 実績:河川関係区要望 79件(60.5%)について工事を実施 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の情報伝達手段の多重化を図る必要があります。 地域の防災意識の高揚を促進するとともに、自主防災組織のリーダー的な役割を担う防災士を育成する必要があります。 激甚、頻発化する災害に対し、短期間で防災対策工事を行う必要があります。 <p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の情報伝達手段の多重化の検討などによる防災情報システムの充実を図ります。 市防災備蓄資機材の計画的購入により、災害時における市民生活の安全を図ります。 防災士の資格取得や出前講座、防災訓練の実施などにより、住民一人ひとりの意識改革を図り地域防災力を高める活動を推進します。 道路及び河川整備を行うことにより、防災・減災を推進します。 <p>担当課 危機管理課・土木課</p>																		
<p>審議会意見</p> <p>施策の中で「防災重点ため池」について触れられていない。ため池ハザードマップが公表されているが、地域の実情が反映されておらず実効性に乏しい。防災関係の計画について見直されたい。</p>																			

(旧)

第6章 暮らしを守る安心と安全のまちづくり

激甚化する自然災害への不安や多様化する社会不安を解消し、住む場所や暮らし方にかかわらず、誰もが安心して住み続けることのできる安全なまちづくりを目指します。

施策名 「防災」

施策目標の進捗状況																			
<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.26 → 目標値 (H33) 3.36</p> <p>R3 満足度指数 3.27</p> <p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <tr><th>年度</th><td>平成22年</td><td>平成24年</td><td>平成26年</td><td>平成28年</td><td>平成30年</td><td>令和元年</td><td>令和2年</td><td>令和3年</td></tr> <tr><th>満足度指数</th><td>3.46</td><td>3.13</td><td>3.25</td><td>3.26</td><td>3.25</td><td>3.24</td><td>3.33</td><td>3.27</td></tr> </table>	年度	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	満足度指数	3.46	3.13	3.25	3.26	3.25	3.24	3.33	3.27
年度	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年											
満足度指数	3.46	3.13	3.25	3.26	3.25	3.24	3.33	3.27											
<p>主な施策の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨量観測システムの追加設置により、防災情報システムの充実を図りました。 職員を対象とし、令和元年東日本台風の教訓を活かし、職員としての地域防災に関する基礎知識習得研修、避難者対応の判断力を養うため避難所運営図上訓練を実施しました。 職員と地域住民合同で、災害時等に市が開設する避難所を実際に設営するといった、職員・住民合同避難所開設・運営訓練を実施しました。 各自主防災組織の中心的役割を担う皆様(区長、区役員、民生児童委員)向けの防災基礎講座を実施しました。 「地域の防災・減災について」の出前講座を開催しました。 地域の自主防災組織のリーダー的な役割を担う防災士の重要性を各区へ周知し、1名の防災士の資格習得に対し自主防災組織に補助金を交付しました。 市へ登録した防災士23名をそれぞれ住所地の区長に紹介するとともに、ヘルメット及びベストを貸与し、活動し易い環境を整備しました。 防災対策として、河川関係の区要望について工事を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ● 実績:河川関係区要望 79件(60.5%)について工事を実施 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の情報伝達手段の多重化を図る必要があります。 地域の防災意識の高揚を促進するとともに、自主防災組織のリーダー的な役割を担う防災士を育成する必要があります。 激甚、頻発化する災害に対し、短期間で防災対策工事を行う必要があります。 <p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の情報伝達手段の多重化の検討などによる防災情報システムの充実を図ります。 市防災備蓄資機材の計画的購入により、災害時における市民生活の安全を図ります。 防災士の資格取得や出前講座、防災訓練の実施などにより、住民一人ひとりの意識改革を図り地域防災力を高める活動を推進します。 道路及び河川整備を行うことにより、防災・減災を推進します。 <p>担当課 危機管理課・土木課</p>																		
<p>審議会意見</p> <p>施策の中で「防災重点ため池」について触れられていない。ため池ハザードマップが公表されているが、地域の実情が反映されておらず実効性に乏しい。防災関係の計画について適切に見直されたい。</p>																			

(新)

(旧)

施策名 「交通安全」

施策名 「交通安全」

施策目標の進捗状況

施策目標の進捗状況

施策目標 (市民アンケートによる満足度指数) 現状値 (H28) 3.16 → 目標値 (H33) 3.20	R3 満足度 指数 3.27	市民アンケート満足度指数の推移
目標設置根拠 満足度指数は、平成26年(2014年)に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。 今後は、高齢化社会が進展する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成26年(2014年)からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。		

施策目標 (市民アンケートによる満足度指数) 現状値 (H28) 3.16 → 目標値 (H33) 3.20	R3 満足度 指数 3.27	市民アンケート満足度指数の推移
目標設置根拠 満足度指数は、平成26年(2014年)に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。 今後は、高齢化社会が進展する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成26年(2014年)からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。		

主な施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、老人クラブ等において交通安全教室を開催し、歩行、自転車及び自動車運転時の注意点を伝え、交通安全教育を促進しました。 ● 実績:交通安全教室等実施回数 22回(参加者3,551人) ・市独自の取り組みとして「佐久市交通事故防止市民週間」(11/8～11/14)を実施し、夕暮れ時の事故防止等と呼びかけ、交通安全意識の高揚を図りました。 ・交通安全施設関係の区要望について工事を実施しました。 ● 実績:交通安全施設関係区要望 220件 内145件(65.9%)について工事を実施
-----------	--

主な施策の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、老人クラブ等において交通安全教室を開催し、歩行、自転車及び自動車運転時の注意点を伝え、交通安全教育を促進しました。 ● 実績:交通安全教室等実施回数 22回(参加者3,551人) ・市独自の取り組みとして「佐久市交通事故防止市民週間」(11/8～11/14)を実施し、夕暮れ時の事故防止等と呼びかけ、交通安全意識の高揚を図りました。 ・交通安全施設関係の区要望について工事を実施しました。 ● 実績:交通安全施設関係区要望 220件 内145件(65.9%)について工事を実施
-----------	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う身体機能の低下等のため運転に不安を感じるようになった高齢ドライバーの免許の自主返納を意識づけする必要があります。 ・飲酒運転の根絶を目指し、積極的な意識啓発の推進を行う必要があります。 ・子どもに対する交通安全教育の徹底を行う必要があります。 ・道路整備やまちづくりによる交通環境、高速交通網の延長及び交通実態の変化に的確に対応し、交通安全施設の整備を進める必要があります。 ・自転車利用中の交通死亡事故が続いていることから、ヘルメット着用促進等に取り組む必要があります。 ・高速交通網の延長などに伴う交通環境や交通実態の変化に的確に対応して、交通安全施設の整備を進める必要があります。
----	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が加害者となる事故を防止するため、免許の自主返納を促進する必要があります。 ・飲酒運転の根絶を目指し、積極的な意識啓発の推進を行う必要があります。 ・子どもに対する交通安全教育の徹底を行う必要があります。 ・道路整備やまちづくりによる交通環境、高速交通網の延長及び交通実態の変化に的確に対応し、交通安全施設の整備を進める必要があります。 ・自転車利用中の交通死亡事故が続いていることから、ヘルメット着用促進等に取り組む必要があります。 ・高速交通網の延長などに伴う交通環境や交通実態の変化に的確に対応して、交通安全施設の整備を進める必要があります。
----	--

今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもを対象とした交通安全教室の開催を推進します。 ・交通安全運動や交通事故防止市民週間、夜光反射材等の交通安全啓発用品の配布等により、交通安全意識の啓発に努めます。 ・交通指導員による街頭啓発や、飲酒運転根絶に係わる啓発を推進します。 ・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設整備に関する区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。 ・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設への区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。
-------	---

今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもを対象とした交通安全教室の開催を推進します。 ・交通安全運動や交通事故防止市民週間、夜光反射材等の交通安全啓発用品の配布等により、交通安全意識の啓発に努めます。 ・交通指導員による街頭啓発や、飲酒運転根絶に係わる啓発を推進します。 ・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設整備に関する区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。 ・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設への区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。
-------	---

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・免許の自主返納について、特に山間部の地域では車がないと生活が難しい。地域生活を維持するため、免許返納によらない方法で事故を抑制する対策を検討されたい。 ・歩道橋のステップの破損が多いため、点検を行われたい。 ・民地から道路に張り出した樹木等への対応について、市から強く働きかけられたい。 ・擁壁の上など、地域での管理では対応できない市道部分から枝が張り出した樹木等について、市に対応してもらいたい。
-------	---

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・免許の自主返納について、特に山間部の地域では車がないと生活が難しい。地域生活を維持するため、免許返納以外でも広い視点で対策を検討されたい。 ・歩道橋のステップの破損が多いため、点検を行われたい。 ・民地から道路に張り出した樹木等への対応について、市から強く働きかけられたい。
-------	---